



やまもと てっぺい  
**山本 鉄平** 講師

〰 出身地 石川県 〰

専門分野 ドイツ文学、ドイツ文化

**Q** 担当科目を教えてください。

**A**

【ドイツ語1、2】

ドイツ語の基礎を学ぶクラスです。基本的な文法事項を確認したのち、場面別のロールプレイを通じて、重要単語の使い方やドイツ語での簡単な会話の仕方を学びます。ドイツ語を使えるようになると、キャリア形成においても私生活においても活動の幅が広がります。また、ドイツ語圏の文化(哲学、文学、科学、絵画、映画、スポーツなど)を深く理解できるようになります。

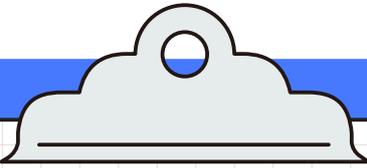
【地域特殊研究】

主に19世紀ドイツの文化や社会を学ぶクラスです。当時、ドイツの人々がどのような風習を持っていたか、あるいは彼らが何を考え日々を過ごしていたかを、哲学的、文学的、歴史的テキストを読解することを通じて、総合的に考察します。授業では、参加者同士によるディスカッションの時間を大事にしています。

**Q** 専門分野に関する研究テーマの魅力をお願いします。

**A**

近年は19世紀ドイツにおける「社交」を研究テーマとしています。当時の芸術家や科学者にとって、専門の活動を一時離れ、気心の知れた仲間とリラックスしておしゃべりすることはとても大切な時間でした。また、そのなかで、新たな着想を得ることも珍しくありませんでした。私自身は社交に苦手意識があり、できることなら避けようとしてきましたが、研究を通じて、社交の魅力やその生産的側面を少しは理解できるようになりました。



Q

先生の人となりをお教えてください。

A

異文化に触れることが好きで、近年は時間があれば東南アジアを旅行しています。ドイツとオーストリアに留学していたこともあり、以前はヨーロッパ文化に惹かれることが多かったのですが、最近、アジア文化の奥深さに気が付きました。たとえば、タイやカンボジアは日本と同じく仏教が盛んですが、お寺や仏塔の色使いや形状は日本と大きく異なります。その背景にどのような意味や思想があるのか、いつか勉強してみたいです。次はカンボジアのアンコールワットに行きたいと考えています。

Q

学生みなさんへメッセージを！

A

学生時代は比較的時間に余裕があると思いますので、様々なことに挑戦するのがいいのではないのでしょうか。個人的には、海外旅行をおすすめします。私自身も、学生時代から海外旅行にはよく行っていましたが、現地のホステルで知り合った人と議論したり、一緒に観光地を訪れたり、貴重な経験をすることができました。ぜひご自身の世界を広げられるようなことに挑戦してみてください。